

【様式】 令和7年度 美方高等学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか
・その他

(意見を聞いた方)

同窓会会長:河原 英明, PTA会長:大野 克弥, 後援会理事長:斎藤 勢津男

○中高一貫について

(意見)

- ・連携クラスの入学割合がここ最近微減であるが下がってきている要因と考えられることは何か？
- ・近年、「探究学習」に中高連携して取り組んでいることはたいへん良いことである。
- ・学校間交流活動、国際交流活動の目標に対する達成率はどれくらいか。
- ・中学生の中には、部活動で学校を選ぶ生徒もいるので、特に団体競技について、なるべく現在ある部活動が存続できるように小中学生のクラブチームがある競技等についても連携が出来れば幅が広がると思う。
- ・中高一貫校の学業優秀者が近隣の高校に流れている事実がある。在校生のモチベーションも低下しているのではないか。
- ・先取り学習も大事だと思うが、中学生が将来を見据えて高校で何を望んでいるのか、個々にリサーチして情報を提供すれば本校にもっと興味を持ってもらえるのではないか。

○教育課程・学習指導について

(意見)

- ・「ほとんど理解できた」生徒の割合は？ 今後はこの層が増えていくように指導してほしい。
- ・タブレットなどの活用が進み、授業形態も変化していく中での努力に感謝したい。
- ・ICT環境の整備について、同窓会で協力できることがあれば申し出てほしい。
- ・適切だと思う。
- ・施設、教材とも充実していると思うし、教員の指導方針も徹底していると思う。
- ・生徒の理解度も高いし、これ以上の教員の指導にも限界があるように思う。
- ・課題をやらされる勉強から、将来を見据えて自発的に取り組む勉強への転換、そのための喚起を促す指導を心掛けて欲しい。

○生徒支援(生徒指導)について

(意見)

- ・「規則正しい生活が送れていない」と回答した保護者の認識を把握してほしい。
- ・心の教育や相談、健康管理などについて、全教職員が意識して取り組んでいることはたいへんうれしいことである。今後も継続指導をお願いしたい。
- ・いじめアンケートなどを実施しているが、昨今、いじめの動画がSNSで出回ることも県内ではあったので、十分気をつけてほしい。
- ・保護者としては、犯罪につながるような事案が発生しないよう警察や専門家から実際の事例等を交えたアドバイスをしてもらえそうな時間があってもいいのかなと思う。
- ・挨拶は社会生活の基本。部活動は人間形成を行う上で大変重要。挨拶の励行と部活動の重要性の啓蒙を広めて頂きたい。
- ・スマホによる性犯罪も多様化しているので、防犯の指導にも努めて頂きたい。

○進路支援(進路指導)について

(意見)

- ・高校生にとって、進路支援はとても重要である。「明確な進路目標を持つことができた」生徒の割合が増えるよう努力してほしい。
- ・「探究活動」への積極的な取組のさらなる向上に期待したい。
- ・図書に親しませることは難しくなっている。書物だけでなく電子書物含めて、いろいろな情報を手に入れることが大切ではないか。
- ・生徒自身の人生なので無理には言えないし働く場所も限られてくるが、最終的に地元に戻って地域を盛り上げてくれる生徒が一人でも増えれば嬉しい。社長が多い福井県。将来の起業に向けた支援などがあっても面白いと思う。
- ・全体指導、個別指導については充分なされていると思う。
- ・将来のビジョンを明確に持たせる事に重点を置いたほうが良いのではないか。

○地域との連携・保護者との連携について

(意見)

- ・保護者との連絡アプリの活用がうまくいっているようだ。
- ・ホームページだけでなく、インスタやX、フェイスブックなどはやっているのだろうか？
- ・同窓会や後援会、PTAと学校の関わりについて、話し合いを持ってはどうか？
- ・PTAとしても保護者の意見は聞いておきたいと思った。総会等では意見があってもなかなか出づらいと思うので連絡アプリを有効に使えると良いと思う。
- ・学校・保護者・後援会が三位一体となって生徒の成長を促したいと思うが、現実的にはハードルが高く難しいと思う。生徒ファーストの指導方針で良いと思う。

○家庭学科について

(意見)

- ・食物科は、県立高校では唯一であり、美方高校にとっての魅力の一つである。新聞などでも時々報道される記事を読むと、生徒が意欲的に取り組んでいることがわかる。
- ・入学希望生徒も多く、美方高校の大きな特色として継続指導してください。
- ・自分の娘が生活情報科でお世話になっているので学校での様子をよく聞けるが、入学時は何となくでも、いろんな事を学ばせてもらえる美方高校独自の特色ある科だと思うので在学中に自分の得意分野や興味を持つような分野を見出してもらえると嬉しく思う。食物科は将来を見越して入学されていると思うので技術を伸ばしていただければと思う。
- ・我校の最大の売りの一つが家庭学科である。イベント等地域との連携は言うに及ばず、中学校・小学校に訪問し、子供たちにパソコンや料理の素晴らしさを伝え我校のイメージアップを計って欲しい。

○業務改善について

(意見)

- ・業務改善により、教職員の本当の意思疎通が少なくならないように努力をしてほしい。
- ・ペーパーレス化も進んでおり良いことだと思う。
- ・これまでの意見は具体的な内容が特になく先生方に詳細まで考えていただく業務負担になりますので一意見としてお願い致します。
- ・部活動において教員の負担軽減における外部指導者の招へいについては、部活動顧問の個人的な招へいがほとんどだと思うが、企業に勤務する場合、学校長の正式文書で招へいしたらどうか。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・中高連携では、探究や国際交流の成果を明確に示し、中学校へ効果的に還元することで魅力を高めたい。部活動や学習面の連携も継続的に強化する。
- ・授業改善では、観点別評価の基準をより分かりやすく整理し、個別支援を充実させるとともに、ICT活用や授業参観を通して教員間の学び合いを深める。
- ・生徒支援では、生活習慣とスマートフォン利用のルールづくりを家庭と協力して進め、防犯について体系化して確実に指導したい。
- ・進路指導では、早期の目標設定支援と保護者への情報発信を強化し、志望理由書・小論文指導の早期化を図る。
- ・地域・保護者との連携では、連絡アプリの浸透を図り、HP・SNS・広報紙を活用して学校の魅力を積極的に発信する。
- ・家庭学科は地域と連動した学習機会を広げ、特色をさらに伸ばしたい。
- ・業務改善は分掌の整理と業務の見える化を進め、教員の負担軽減と組織力向上を図る。